



先端国際共同研究推進事業 2025年度 日英量子共同公募 “Quantum Technologies for Innovation” 募集説明会

令和7年3月6日



科学技術振興機構

国際部 先端国際共同研究推進室

先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）とは

ASPIREの目的



- 世界のトップ科学者層とのネットワーク構築
- 未来を決める国際的なトップ研究コミュニティへの参画
- 将来持続的に世界で活躍できる人材の育成

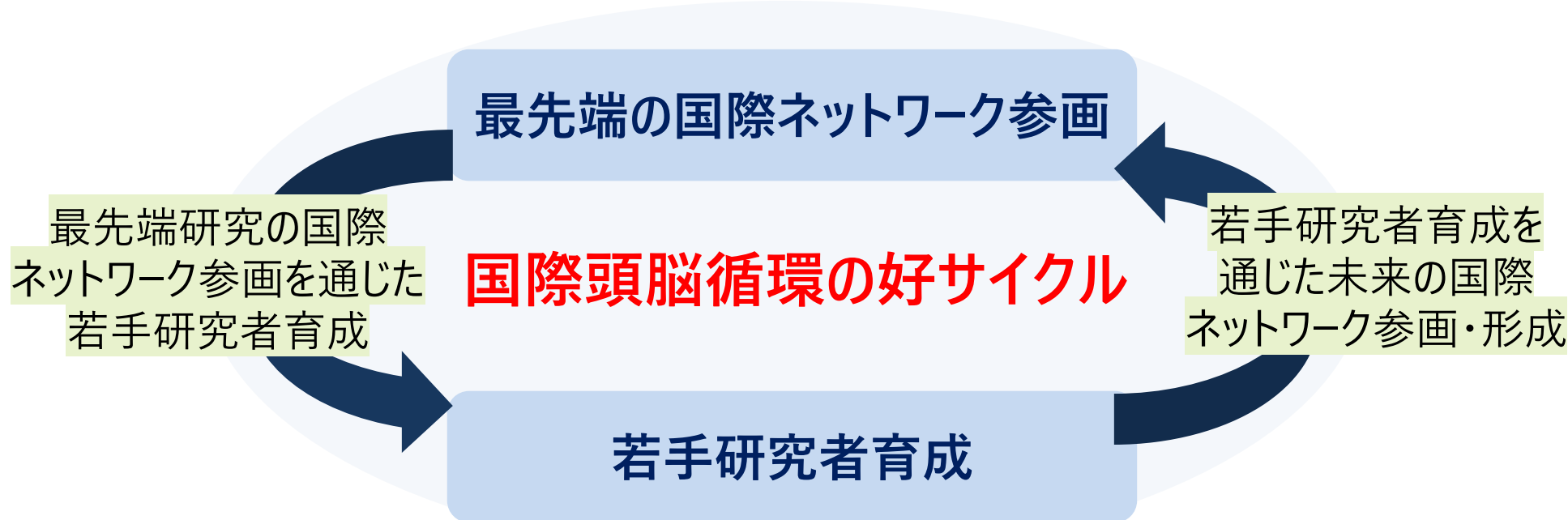


重要分野における科学技術先進国との国際共同研究の中で
1課題あたり最大5億円規模で国際ネットワーク構築・
国際頭脳循環に資する若手研究者育成等に関する活動を
支援します。

先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）とは

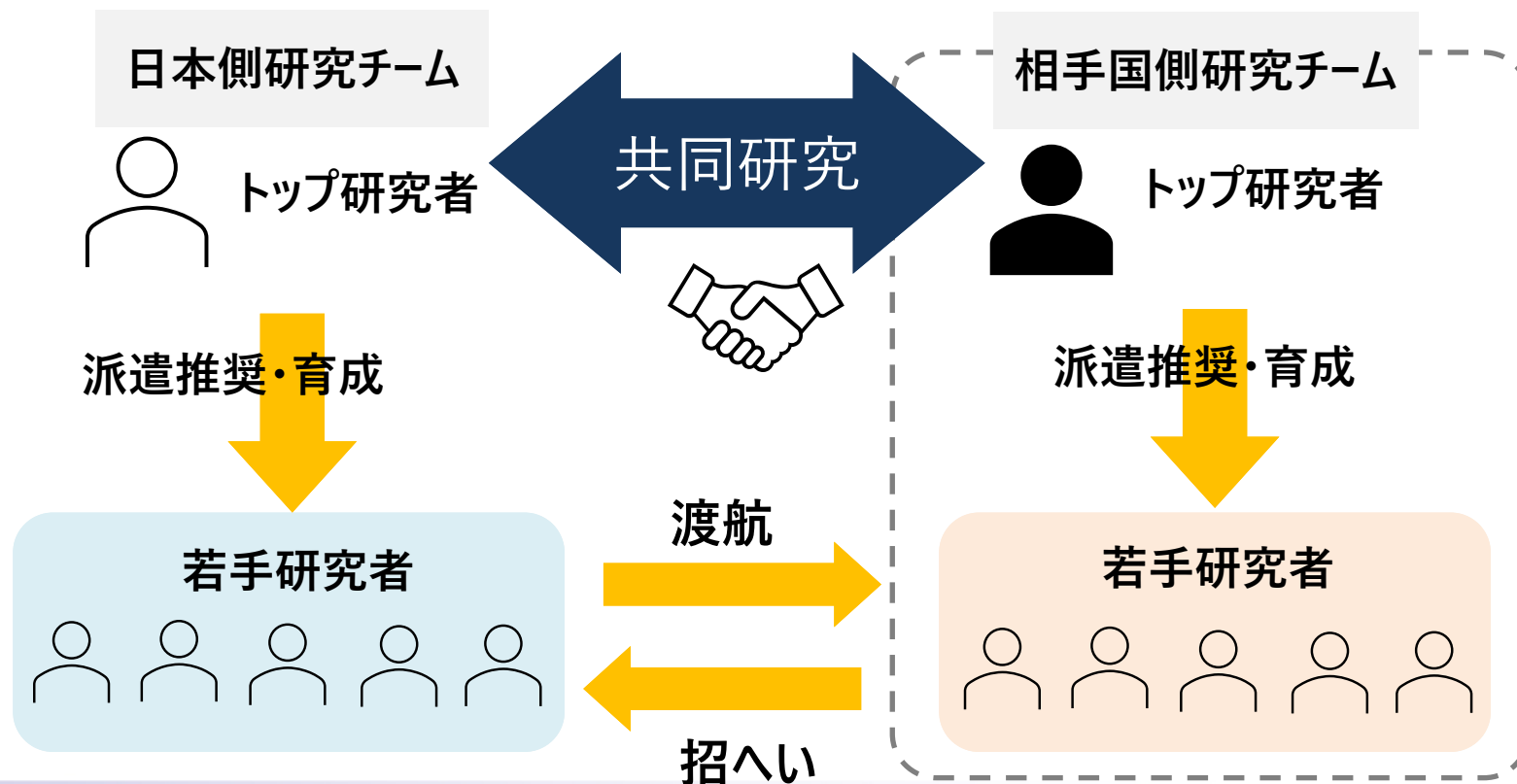
国際頭脳循環・共同研究の活発化を狙う！！

1. 最先端研究の国際ネットワークへの日本人研究者の参画促進
2. 若手研究者の育成、コネクションの強化を通じた持続可能な国際ネットワークへの参画・連携の土台作り



ASPIREについて

トップの研究コミュニティにおける 国際頭脳循環・共同研究の活発化



ASPIREについて

Top Down

文部科学省

分野

AI・情報
バイオ
エネルギー
マテリアル

量子
半導体
通信



対象国・地域

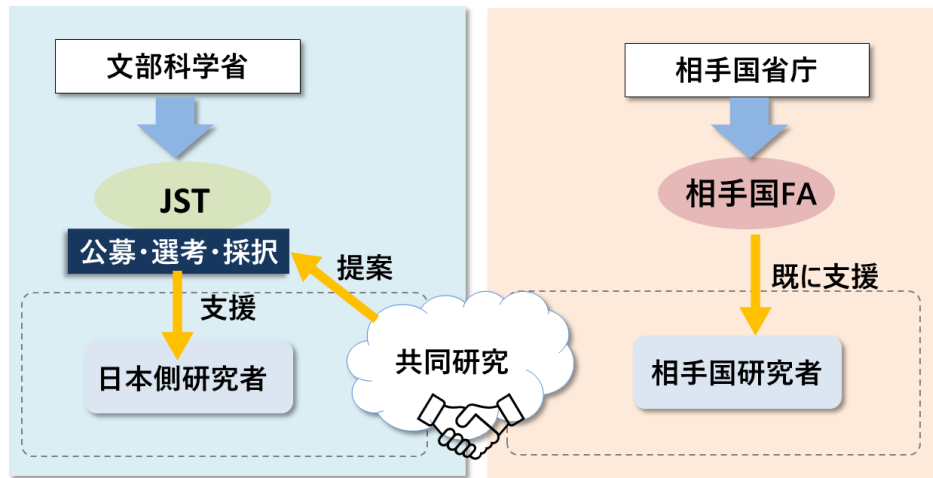
米国、EU、イタリア、オーストリア、
オランダ、スウェーデン、スペイン、
チェコ、デンマーク、ドイツ、フィンランド、
フランス、ベルギー、ポーランド、
ポルトガル、**英国**、スイス、
ノルウェー、カナダ、オーストラリア、韓国

国が定める分野、対象国・地域との国際共同研究を通じた
ネットワーク作り等を支援

大学・国立研究開発法人等

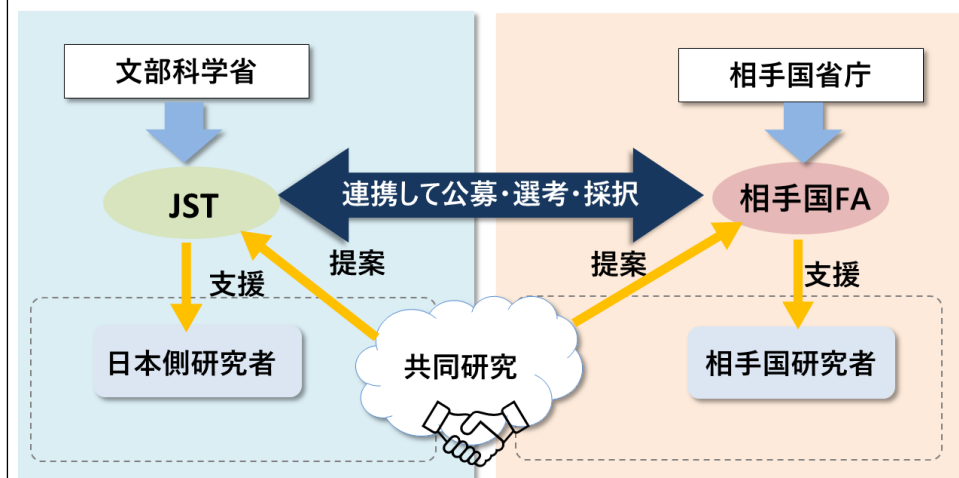
ASPIREにおける公募の種類

単独公募(※)



日本側提案者による提案を募集
(相手国側研究者は相手側資金配分機関(FA)や研究機関等のプログラムで既に支援を受けている、又は今後支援を受けることが決まっている必要あり)
⇒採択後JSTは日本側研究者に資金を配分

共同公募



日本側研究者と相手国側研究者
による募集を提案
⇒採択後JSTは日本側研究者、
相手国FAは相手国側研究者に
資金を配分

ASPIRE 2025年度公募について

	共同公募	単独公募	
		Top枠	次世代枠
研究分野	量子	AI・情報、バイオ、エネルギー、マテリアル、量子、半導体、通信	
対象国・地域	英国	英国等の科学技術先進国・地域	
支援規模	最大2.85億円 （直接経費の30%にあたる間 接経費を含む場合、最大3.7 億円）／原則5年間	最大3.8億円 （直接経費の 30%にあたる間接 経費を含む場合、 最大5億円）／5 年間	最大6,900万円 （直接経費の30% にあたる間接経費を 含む場合、最大9,千 万円）／3年間
公募期間	2/13~5/9	3月3日開始	
支援方式	JSTは日本側研究者、 相手国FAは相手国側研究者 の活動費を支援	JSTは日本側研究者の活動に加え、 相手国からの相手国側から招聘する研究 者等の渡航費、報酬等も支援	

2025年度 重複応募の制限について

ASPIREでは以下のような重複応募の制限を設けています。

- a. 本公募含む2025年度ASPIRE公募（2025年に公募を開始するJSTの単独・共同公募及びAMEDが実施する公募）の中で研究代表者及び主たる共同研究者としての応募は1件までです。
- b. ASPIRE共同公募で支援されている研究代表者又は主たる共同研究者による申請は不可とします。
- c. ASPIRE単独公募で支援されている研究代表者による応募は可能ですが、本公募で採択された場合は、既に支援されている課題は中止となります。
- d. ASPIRE単独公募で支援中の主たる共同研究者による応募は可能ですが、本公募で採択された場合は、既に支援されている課題からは離脱していただきます。なお、離脱した課題については、予算やチーム編成の見直しを含めた再審査を行います。

ASPIREで既に支援中の課題に参画する研究代表者及び主たる共同研究者による応募を検討されている場合は、aspire-uk@jst.go.jpまで事前に報告ください。

ASPIRE 2025年度 日英共同公募について

- ◆ JSTと、UKRI傘下、英国工学・物理科学研究評議会(EPSRC) によるマッチング・ファンドで実施。
- ◆ 採択した課題においてJSTは日本側研究者、EPSRCは英国側研究者をそれぞれ支援。

*英国研究・イノベーション機構（UKRI）傘下の分野別研究会議の一つ

本公募の目的

量子技術分野における国際競争力のある日英共同研究課題を支援することで

- 日英両国における量子分野の持続的な発展と、国際競争力のある研究環境を創出
- 量子技術分野における国際研究者ネットワーク構築、或いは既存のネットワーク拡大を将来にわたりリードしうる日英の持続的なパートナーシップの構築
- 上記の活動を通じた優秀な若手研究者の育成

ASPIRE 2025年度 日英量子共同公募について

	日本側研究者	英国側研究者
応募資格	日本国内の研究機関に所属し、その機関で研究を実施している研究者、およびその研究者により構成された研究チーム	英国を拠点とする研究機関に所属し、EPSRCの資金提供を受ける資格を有していること ※詳細は EPSRCのウェブサイト を確認してください
応募要件	日本および英国それぞれの大学や研究機関等から1機関以上がコンソーシアムを組み、2機関以上の共同研究体制で応募してください。	
期待される応募者	国際競争力のある共同研究プロジェクトを推進しかつ、当該研究分野をリードすることができるトップの研究者	
研究分野	量子	
募集テーマ	イノベーションのための量子技術に関する日英共同研究 Japan UK Joint Call for Quantum Technologies for Innovation	
支援規模	最大 2.85億円 (直接経費の30%にあたる間接経費を含む場合、最大3.7億円)	最大150万ポンド (約2.85億円) (FEC : Full Economic Costの80%) *1ポンド = 190円と換算
支援期間	原則5年間 (2026年1月～2031年3月)	5年間 (2026年1月～)
採択件数	3 件程度	

公募テーマ

イノベーションのための量子技術に関する日英共同研究

Research related to quantum computers and quantum technology which contributes to the realization of a productivity revolution, and research on quantum materials with innovative functions.

次のような量子技術やそれに限らない革新的な量子技術の研究課題の提案を募集します。

1. 超高速・超並列情報処理を可能にする量子通信や量子コンピューティングの研究
2. 既存の技術を超える精度のセンシングや計測などの量子技術の開発
3. 高性能材料を用いた革新的な量子エレクトロニクスの創出

【留意事項】詳細についてはEPSRCのFunding opportunity(公募要領)の“Who can apply”、“What we are looking for”をご確認ください。

応募方法

- 1) 日本側研究者と英国側研究者が協力して国際共同研究提案書を作成し、英国側の電子申請システム（UKRI funding service）から申請を行ってください。

※入力、申請は英国側研究代表者のみ可能です

- 2) 英国側研究代表者は公募要領に指定された電子システムを通じて EPSRC に提案書を提出してください。英国側に提出した提案書は日本側の申請時にも必要になりますので、申請データのコピーを英国側研究者から入手する必要があります。

- 3) 日本側研究者は JST 指定申請様式（Japan-UK Quantum Technologies Application Form）に必要事項を記載してください。

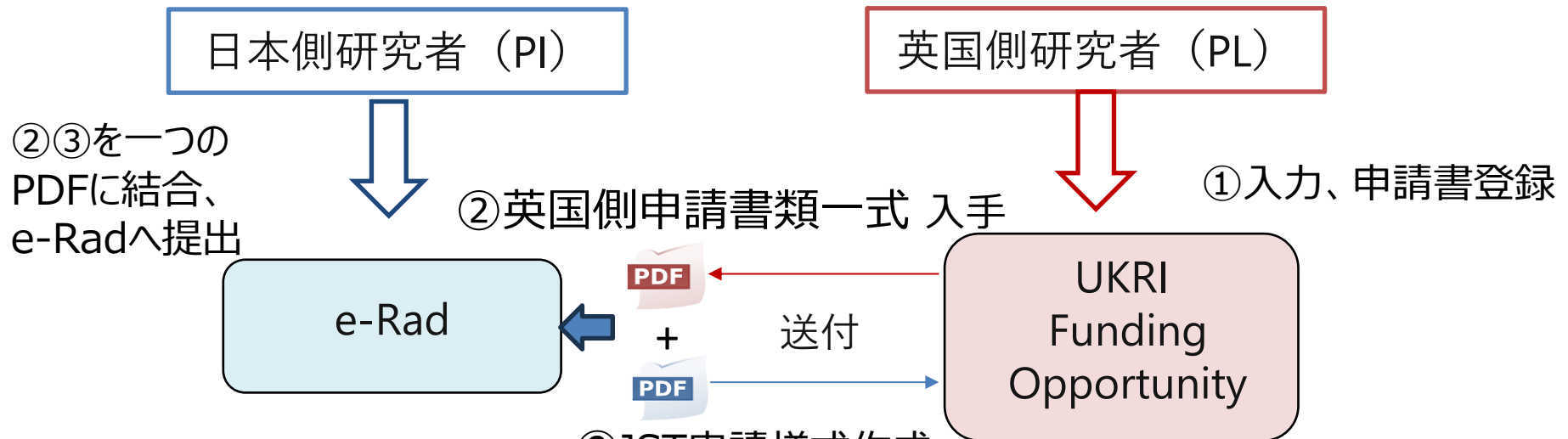
※指定の申請様式に（日本語）と記載がない欄はすべて英語にて記載してください。日本側研究代表者は申請様式の最後にある「法令遵守チェックリスト」、「確認書」の提出が合わせて必要となります。

応募方法

- 4) 日本側研究者もJST指定申請様式のPDFコピーを英国側研究者へ送り英国側電子申請システムへアップロードを行っていただきます。
※英国側へ送るファイルの容量は 8MB 以内を目途にご作成ください。
- 5) 日本側研究者は申請時、英国側の申請書と一緒にしたものをPDFデータに変換し府省共通研究開発管理システム（e-Rad）にアップロードしてください。
- 6) 日本と英国で受付時間が異なることに留意し、日本側と英国側研究者が両国の締切時間までに研究提案を提出することを必須とします。
- 7) 日本側研究者がe-Radを初めて利用する場合、所定の手続きが必要です。登録手続きに日数（2週間以上）を要する場合がありますので、余裕をもって準備をしてください。

詳しい応募方法については、公募要領別紙の2.7応募方法をご確認ください。

応募方法



①UKRIウェブサイトに入力

※英国側研究代表者のみ入力可

②ウェブシステム登録後、申請書PDFを英国側から入手

③JST申請様式を作成

④JST申請書PDFを英国側へ送付

⑤英国側申請書コピーとJST申請書を1つのPDFにまとめてe-Radに提出

※JST申請書を英国側システムにアップロード

共同研究体制

UKRI funding service

日英の各チームは、研究代表者（PI）/プロジェクトリード（PL）をリーダーとする以下のメンバーで構成され、**各チームには、日本から英国、英国から日本へそれぞれ渡航して研究を行う研究者（outgoing researcher）を1名または数名含めてください。**

日本側研究チーム	英国側研究チーム
研究代表者（PI）	project lead (PL)
- 主たる共同研究者（Co-PI）* - 研究参加者 （PI、Co-PI 以外で研究に参加する研究者、技術者、研究補助者、学生等） - 相手国側へ渡航する研究者等 *必要に応じて含めてください。	- project co-lead (UK) (PcL) - Specialist - professional enabling staff - research and innovation associate - Technician - visiting researcher - researcher co-lead (RcL)

国際頭脳循環計画

UKRI funding service

- 提案書において、**国際的な研究者ネットワークの構築・拡大**や**国際頭脳循環**に関する具体的な計画を記載してください。
- **本課題の終了までに構築・拡大が期待される具体的なネットワーク**について説明してください。
- 必要に応じてグラフや画像、チャートなどを挿入することができます。

Research partnership

Word limit: 1,500

When providing a response applicants are expected to:

- describe in detail how your proposed work will add value to the advancement of the research field and the relevant research community

若手研究者の人材育成計画

UKRI funding service

- 提案書において、日本側および英国側双方のチームにおける**若手研究者の人材開発を支援する明確な計画**を記載してください。
- **次世代のトップ研究者を育成するしくみや国際的なモビリティの機会をどう提供するか**について具体的に説明してください。
- 特に研究開始から2～3年内の**渡航計画**について、氏名、所属機関、役割、相手国側での受入機関名等を記入してください。

Plan for Early Career Researcher (ECR) and International Researcher Mobility

Word limit: 1,000

Applicants must demonstrate a clear plan to support career development of ECR's, mechanisms to develop the next generation of leading researchers and provide researchers (to include but not limited to ECR's) with opportunities to achieve international mobility.

研究代表者の実績

UKRI funding service

JST申請様式

- UKRI funding serviceには英国側研究代表者の実績、JST申請様式には日本側研究代表者の実績をそれぞれ指定される項目に従い英語で記述してください。
- 日本側研究代表者の実績として、経歴、研究実績、チームマネジメント実績、論文受賞歴等、国際研究の実績等の記述が求められます。

2. Achievements of the Japan-based Principal Investigators↵



Describe Achievements of Japan-based Principal Investigators by using following format.↵

● → Researcher information↵

(1)→URL : ↵

Please paste a link to the page of the Principal Investigator in ORCID (If you do not have an ORCID ID, please paste

国際頭脳循環のための予算計画

UKRI funding service

JST申請様式

- 国際共同研究実施において必要な経費やリソースの概要についてUKRI funding serviceに記入してください。
- JST申請様式には**日本側研究チームの (1) 全体予算計画**に加えて、**(2) 国際頭脳循環に関する予算計画**を記入してください。

< 記入項目 >

- (1) Breakdown of total expenditure
- (2) Expenditure on fostering ECRs that contributes to building and expanding international networks and promoting international researcher mobility, etc.

他制度での助成有無

JST申請様式

- 本公募の趣旨に沿った国際ネットワーク構築や、国際頭脳循環に資する若手研究者等の育成に関する研究活動を遂行する上で、**基盤となる十分な研究資源（研究資金、人的・物的資源等）を備えているかを確認します。**本提案との研究内容の重複を確認するものではありません。
- ・研究代表者および主たる共同研究者が、**現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的研究費制度(先端国際共同研究推進事業を含む)やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)**について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートを記入してください。
- **日本語で記載してください。**

日本側研究者に特徴的な応募要件①

◆原則1年程度の相手国側での研究実施

日本側研究チームには相手国へ渡航する**若手研究者等（Outgoing researcher）の参加を必須とし、原則1年程度相手国側で研究活動を実施**する必要があります。

渡航する若手研究者等は原則、下記（i）、（ii）のいずれかに該当するものとします。

渡航する研究者の人数に制限はありません。

- （i）修士・博士課程（博士前期・後期課程）に在籍する学生であること
- （ii）大学、公的研究機関等で研究活動を行う研究者で学位取得後15年程度以内であること

日本側研究者に特徴的な応募要件②

◆予算の用途制限

直接経費総額の 7 割程度を最先端な研究開発につながる国際的ネットワークの構築・拡大や、国際頭脳循環を促進し国際的なトップ水準の研究機会を若手研究者等へ提供するなど、次世代のトップ研究者になることが期待される若手研究者育成を目的として使用するものとします。

例)

- ・トップ研究者・若手研究者間のコネクション強化を目的としたWS開催
- ・相手国側への若手研究者の渡航費、渡航後に発生する費用
- ・渡航や交流の実施にかかるコーディネート業務を行うスタッフの人件費等

※研究推進のみを目的とした雇用や物品費等は本費用には含まれません
※ASPIREでは国際的なネットワーク作りと若手研究者の育成を目的としていることから、他の研究助成制度から十分な研究費を獲得していることを重視します。

評価の観点

- i. 国際共同研究の目標設定と内容及び計画の妥当性、質の高さ
- ii. 国際共同研究推進のためのアプローチ及び実現可能性
- iii. 国際パートナーシップの意義及び当該研究分野の発展への付加価値
- iv. 国際頭脳循環等の促進に資する若手研究者等の人材育成計画の具体性・妥当
- v. 研究体制及び研究代表者の研究実績、適格性
- vi. 資源配分の妥当性

評価の観点

i 国際共同研究の目標設定と内容及び計画の妥当性、質の高さ

科学的な観点から、国際共同研究の質を評価します。

- 研究提案内容の当該研究分野・領域においてあるいはその領域を超えて、優れた質と重要性を有している
- 領域内外で新たな知識、思考、発見をもたらすことが期待できる
- 国際的に高い評価を得る研究成果の創出が期待できる
- 世界をリードする研究、社会、経済、環境に影響を与えるものである

評価の観点

ii. 国際共同研究推進のためのアプローチ及び実現可能性

国際共同研究の目標達成へのアプローチを評価します。

- ・研究提案計画の適切性及び実績に基づく発展性が期待できる
- ・自分自身、またはチームの研究環境が研究の成功に与える貢献について説明している
- ・チャート等を用いて詳細かつ包括的に研究計画の実効性を示している

評価の観点

iii. 国際パートナーシップの意義及び当該研究分野の発展への付加価値

国際的な研究ネットワーク構築・拡大の計画を評価します。

- 日英共同研究によって達成できる研究の強み、付加価値、相乗効果が期待できるか
- 研究期間を通じて、日本と英国間の明確かつ実現可能な役割分担ができている
- 明確かつ具体的な実施計画により、国際共同研究および世界をリードするネットワークを構築・拡大するための適切なアプローチを有している

評価の観点

iv 国際頭脳循環等の促進に資する若手研究者等の人材育成計画の具体性・妥当性

若手研究者等の人材育成計画を評価します。

- 国際的なモビリティ活動を通じて若手研究者を育成するための適切な目標が設定されている
- 十分な数の若手研究者を参加させる計画がある
- 若手研究者のための効果的な育成計画が設定されている
- 渡航する研究者の役割と滞在期間は明確に説明され、また実現可能な交流計画が策定されている

評価の観点

v. 研究体制及び研究代表者の研究実績、適格性

研究体制及び日本側・英国側研究代表者の研究実績や適格性を評価します。

- 提案の目的に照らして、専門性のバランスの取れたチーム構成か
- 研究代表者が提案された業務を遂行するのに適切な経験を有するか
- 研究代表者が業務遂行に適切なリーダーシップとマネジメントスキルを有するか
- 研究代表者による若手研究者等の人材育成に係る実績、資質

評価の観点

vi 資源配分の妥当性

与えられた資源の配分が適切であり、潜在的な成果に向けた最適な予算編成であるかを評価します。

- 若手研究者等の人材育成の予算計画
- 成果を創出するための研究資源（研究資金、人的・物的資源等）配分の適切性

研究セキュリティの確保について(1)

- 「大学等の研究セキュリティ確保に向けた文部科学省関係施策における具体的な取組の方向性」(令和6年12月18日文部科学省 科学技術・学術政策局)においては、我が国の経済安全保障上の要請に応えるのみならず、**学問の自由・独立性・開放性・相互主義／互恵性・透明性といった共通の価値観に基づく開かれた研究環境を守り、大学等の国際連携を推進するために、研究セキュリティ確保が必要とされています。**
- 研究セキュリティ確保の取組は、**ゼロリスクを目指したり、幅広い研究に制限を設けたりすることはせず、研究や国際連携を健全に前に進めることを目的に、その際に生じ得るリスクを適切な範囲で軽減するために行うことを原則としています。**また、**一部の研究開発プログラム・研究分野から試行的な取組を開始することとしています。**
- 本公募で機構は、上記指針に則り、研究代表者および研究機関と協議の上、**研究セキュリティ確保の取組を試行的に講じます。**

研究セキュリティの確保について(2)

- 研究提案の内容によっては、追加情報 (※) の提出や、リスク軽減策 (※※) の対応を依頼する場合があります。該当する研究課題には、選考が進んだ段階で、JSTから提案者に個別にご連絡いたします。

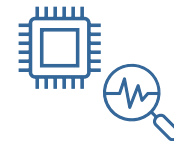
(※) 提案している研究体制や、国内外の協力機関（共同研究先や測定・分析・サンプル加工などの外注先）などについて。

(※※) リスク軽減策の例：電子的アクセスの制限（フォルダアクセス権の設定、ログ記録など）、物理的アクセスの制限（入退室の管理など）、サンプルの加工・供与時の散逸への注意など。



- 成果の内容によっては、外部への発表の方法について事前に、JSTから研究代表者にご相談させていただくことがあります（必要最小限の対象範囲に関する成果公開の方法・工夫 (※) について、JSTが研究者に事前相談・依頼するものです。それをどのようなかたちで受けるかを最終決定するのは研究者となります）。

(※) 公開の方法・工夫の例：口頭発表資料・論文に掲載する文章・図表の表現の調整、公開時期をずらす等。



公募スケジュール

- ・書類審査期間：2025年5月～9月
- ・面接審査期間：2025年9月下旬
- ・審査結果通知：2025年11月上旬（予定）
- ・研究開始：2026年1月上旬（予定）

応募される場合は、

e-Rad受付締切：2025年5月9日（金）午後2時（日本時間）

※面接審査は書類審査を通過した研究提案の日本側研究代表者のみを対象に実施します。面接に進まれる方へは、原則として面接審査日の2週間前までに電子メールにてご連絡します。

<英国側の受付締切：2025年5月8日（木）午後4時（英国時間）>

4月24日までにJSTへ事前連絡をお願いします！

※詳細は公募ページをご確認ください。